学校番号	304

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ｂ」　（実教出版）						
副教材等	写真資料館　日本史のアーカイブ（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を理解し、現在の日本の姿をとらえる。

２　学習の到達目標

日本の歴史の展開を、総合的に考察させ認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 〔主題学習〕 ディスカッション 歴史新聞作成	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート 歴史新聞作成	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート ポスターセッション 歴史新聞作成	定期考査 〔主題学習〕 ディスカッション

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの	・日本最古の文化 ・縄文時代の社会と文化	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a. 旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b. 縄文時代の人々の生活や社会、文化を面的・多角的に考察している。 c. 縄文時代の人々の生活について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d. 旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	水稲農業の開始と社会生活の進展	・弥生時代の社会と文化 ・小国の分立と邪馬台国 ・大和政権の成立・発展と東アジア ・古墳の成立と発展 ・大陸文化の摂取 ・歴史新聞の作成	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	a. 弥生時代の社会の変化や国家の形成過程に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b. 弥生時の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程から課題を見いだし、東アジア世界の状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c. 弥生時代の中国史書を活用することを通して、社会の変化や国家の形成過程について追究し考察した過程を適切に表現している。また、歴史新聞の作成を通じて、個々の知識を歴史の大きな流れとして捉える観点を身につけている。 d. 古墳時代の社会の変化や人々の生活、国家の形成過程についての基本的な事柄を東アジア世界の状況と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 歴史新聞作成
2学期	東アジア文化の影響と律令制度の成立	・推古朝の政治と飛鳥文化 ・律令国家成立期の政治と文化 ・律令体制とその実態 ・天平文化	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a. 律令体制の成立の背景とその実態について、関心と課題意識を高め、追究している。 b. ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c. 奈良時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につける。 d. ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート

	摂関政治と国風文化	・平安初期の政治と文化 ・摂関政治と地方の動向 ・国風文化	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a. 平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に対する関を高め、意欲的に追究している。 b. 平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との関係の変化、などと関連付けて、多面的多角的に考察している。 c. 平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 平安時代の社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
	中世社会の成立と文化の新機運	・荘園公領制の形成と武士団 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武家政治の展開 ・鎌倉武士と農村生活 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	 ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a. 武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b. 公領の変質と荘園の拡大、鎌倉武士と農村から課題を見いだし、多面的・多角的に考察している。 c. 鎌倉文化に関する文献、絵画、建築などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
3学期	武家社会の展開と室町文化	・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・惣村の発展と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国大名	 ○ 	○ ○ 	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a. 建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b. 南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との交流と関連付けて考察している。 c. 戦国時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。